

**私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。**

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名	小平第二みどり作業所			第三者評価受審年度	令和元年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元年度)	改善計画 (令和元年度10月時点)	実施状況 (令和元年度10月末時点)	実施状況 (令和元年度3月末時点)	
事故・ヒヤリハット報告書への対策欄には職員の意識ではなく「具体的な行動」を明記してはどうか	上半期、下半期に分け、年に2回分析を行っている。集計結果からリスク存在を把握出来ているものもあるが、具体策を講じるのが難しいものも多く、意識面の強化に偏ってしまうことが多い。	下半期の分析から、意識面に加えて具体的な対策について検討を行う。	下半期のヒヤリハットを集計中である。	下半期のヒヤリハットの集計結果を基に対策に具体的な行動の明記を行う予定である。(4月末までに作成)	
業務の効率化に向けたさらなる取り組みが働きやすい職場につながるものと考え	職員採用が進まず、一人ひとりの職員への業務負担が大きくなっている。特に、ケース記録の記入は大きな割合を占めている。	ケース記録のソフト導入については、コスト面や、同時に複数の記録ができないことなどから現在は、検討を行っていない。人員確保と業務の見直しにより改善を図りたい。	求人活動を行い、まずは、人員確保に力を入れる。	求人活動を行い、概ね人員を確保することができた。定着率の向上に向けて、職員とのコミュニケーション強化に取り組み始めたところである。	
職員のスキルの差を埋めるためにも、一人ひとりの役割分担を明確にしていくことが期待される	職員育成計画は作成しているが、日常業務における詳細な担当などは決めておらず、場当たりの業務分担になりがちである。	日常業務の中でどのような担当を決めると個々の職員の業務が明確となるか、会議にて検討を行う。	1月の職員会議にて検討を行い、2月会議にて役割分担表の作成を行う。	役割分担表の作成を行い、3月から活用している。	

※この様式は、「小平市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。